

1 次の問い(問1~3)の各枠に当てはまる符号または数字をマークせよ。

問1 200以下のすべての正の偶数の積を計算すると、数値の末尾には0が連続して

1 2 個並ぶ。200以下のすべての正の奇数の積を計算すると、数値の末尾の数字は 3 である。

問2 ある集団で5人に1人がかかる病気がある。この集団に属するAさんがその病気に関する検査を受けたところ、陽性の結果が出た。その病気にかかっている人がこの検査で正しく陽性と判定される確率は90%で、かかっていない人が誤って陽性と判定される確率は5%である。Aさんがこの病気にかかっていない確率は 4 5 % である。

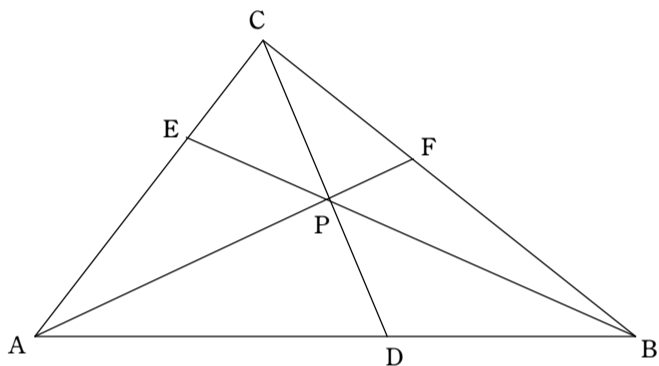
問3 図のように、△ABCにおいて、辺ABを3:2に内分する点をD、辺ACを2:1に内分する点をE、BEとCDの交点をP、BCとAPの延長との交点をFとする。このとき

$$\frac{AP}{AF} = \frac{6}{7}$$

である。また、△ABP、△BCP、△CAPの面積をそれぞれI、J、Kとおくと

$$I : J : K = \frac{8}{9} : \frac{10}{11} : 1$$

である。



解説

問1 200以下のすべての正の偶数を2で割ると

1、2、3、……、100 ……①

となる。

200以下のすべての正の偶数の積の末尾の0の個数と、①の積の末尾の0の個数は一致するので、①の末尾の0の個数は

$$\left[\frac{100}{5} \right] + \left[\frac{100}{5^2} \right] = 20 + 4 = 24 \text{ 個}$$

また、200以下のすべての正の奇数の1の位に注目すると

1、3、5、7、9、11、13、15、17、19、21、……、199

より、1、3、5、7、9が繰り返し20回現れることが分かる。

よって、 $1 \times 3 \times 5 \times 7 \times 9$ の1の位は5で、 5^{20} の1の位も5より

200以下のすべての正の奇数の末尾の数字は5

別解 以下、 $\text{mod } 10$ として

$$\begin{aligned} 1 \times 3 \times 5 \times 7 \times 9 \times \dots \times 199 &\equiv (1 \times 3 \times 5 \times 7 \times 9)^{20} \\ &\equiv [1 \times 3 \times 5 \times (-3) \times (-1)]^{20} \\ &\equiv 45^{20} \\ &\equiv 5^{20} \\ &\equiv 5 \end{aligned}$$

問2 Aさんが病気にかかっているという事象をE、Aさんが検査で陽性と判定されるという事象をFとすると

$$P(E) = \frac{1}{5}, P_E(F) = \frac{90}{100}, P_{\bar{E}}(F) = \frac{5}{100}$$

$$\text{よって、} P(\bar{E}) = \frac{4}{5}, P_E(\bar{F}) = \frac{10}{100}, P_{\bar{E}}(\bar{F}) = \frac{95}{100}$$

となる。

求める確率は、Aさんが病気にかかっていない確率

つまり、Aさんが陽性と判定されたという前提のもので、病気にかかっていない確率

より、 $P_{\bar{E}}(\bar{E}) = \frac{P(\bar{E} \cap \bar{F})}{P(\bar{F})}$ となる。

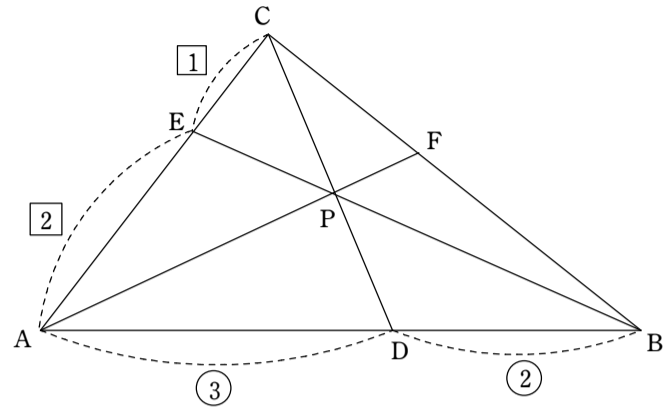
$$\begin{aligned} P(\bar{E}) &= P(E \cap \bar{F}) + P(\bar{E} \cap \bar{F}) \\ &= P_E(\bar{F}) \cdot P(E) + P_{\bar{E}}(\bar{F}) \cdot P(\bar{E}) \\ &= \frac{10}{100} \cdot \frac{1}{5} + \frac{95}{100} \cdot \frac{4}{5} \\ &= \frac{110}{500} \end{aligned}$$

よって、求める確率は

$$\begin{aligned} P_{\bar{E}}(\bar{E}) &= \frac{\frac{5}{100} \cdot \frac{4}{5}}{\frac{110}{500}} \\ &= \frac{2}{11} \\ &= 0.1818 \dots \end{aligned}$$

よって、Aさんがこの病気にかかっていない確率は、18%

問3



チェバの定理より

$$\frac{CE}{EA} \cdot \frac{AD}{DB} \cdot \frac{BF}{FC} = 1$$

$$\therefore \frac{1}{2} \cdot \frac{3}{2} \cdot \frac{BF}{FC} = 1$$

$$\therefore BF : FC = 4 : 3$$

メネラウスの定理より

$$\frac{CB}{BF} \cdot \frac{FP}{PA} \cdot \frac{AE}{EC} = 1$$

$$\therefore \frac{7}{4} \cdot \frac{FP}{PA} \cdot \frac{2}{1} = 1$$

$$\therefore AP : PF = 7 : 2$$

$$\text{よって、} \frac{AP}{AF} = \frac{7}{9}$$

これより、△ABCの面積をSとすると

$$J = \frac{PF}{AF} S = \frac{2}{9} S$$

メネラウスの定理より

$$\frac{AB}{BD} \cdot \frac{DP}{PC} \cdot \frac{CE}{EA} = 1$$

$$\therefore \frac{5}{2} \cdot \frac{DP}{PC} \cdot \frac{1}{2} = 1$$

$$\therefore CP : PD = 5 : 4$$

$$\text{よって、} I = \frac{PD}{CD} \cdot S = \frac{4}{9} S$$

メネラウスの定理より

$$\frac{AC}{CE} \cdot \frac{EP}{PB} \cdot \frac{BD}{DA} = 1$$

$$\therefore \frac{3}{1} \cdot \frac{EP}{PB} \cdot \frac{2}{3} = 1$$

$$\therefore EP : PB = 1 : 2$$

$$\text{よって、} K = \frac{PE}{BE} \cdot S = \frac{1}{3} S$$

以上より

$$\begin{aligned} I : J : K &= \frac{4}{9} S : \frac{2}{9} S : \frac{1}{3} S \\ &= \frac{4}{3} : \frac{2}{3} : 1 \end{aligned}$$

2 下の文章を読み、下の問い(問1、2)の各枠に当てはまる符号または数字をマークせよ。

c を定数とし、 x の関数 $f(x)$ を

$$f(x) = -x^4 + 2x^2 - cx$$

とする。

問1 $f(x)$ が極小値を持つための必要十分条件は

$$\frac{\boxed{12} \boxed{13} \sqrt{\boxed{14}}}{\boxed{15}} < c < \frac{\boxed{16} \sqrt{\boxed{17}}}{\boxed{18}}$$

である。これが満たされているとき、極小値をとる x の範囲は

$$\frac{\boxed{19} \sqrt{\boxed{20}}}{\boxed{21}} < x < \frac{\sqrt{\boxed{22}}}{\boxed{23}}$$

である。

問2 $f(x)$ が $x = \frac{1}{2}$ で極小値をとるとき、最大値は

$$\frac{1}{\boxed{24} \boxed{25}} \left(\boxed{26} \boxed{27} + \boxed{28} \boxed{29} \sqrt{\boxed{30} \boxed{31}} \right)$$

であり、それを与える x の値は

$$x = -\frac{1}{\boxed{32}} \left(\boxed{33} + \sqrt{\boxed{34} \boxed{35}} \right)$$

である。

解説

問1 $f(x) = -x^4 + 2x^2 - cx$ より

$$f'(x) = -4x^3 + 4x - c$$

$$\therefore f'(x) = (-4x^3 + 4x) - c$$

$f(x)$ が極小値をもつ条件は

$f'(x)$ が負から正と符号変化することである。

よって、 $g(x) = -4x^3 + 4x$ とおくと

$y = g(x)$ と $y = c$ のグラフの位置関係において

$g(x) < c$ の部分から、 $g(x) > c$ となる部分が存在することである ……①

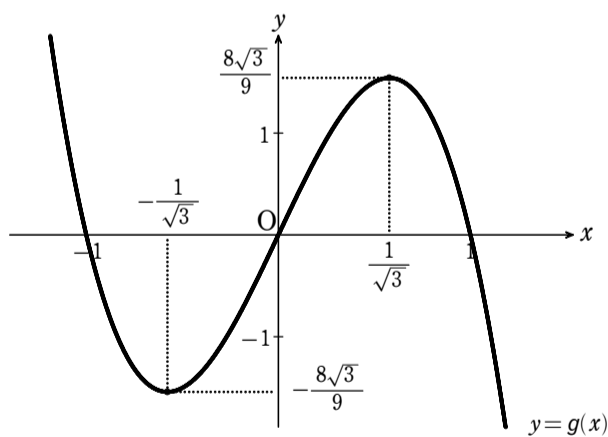
$y = g(x)$ のグラフは

$$\begin{aligned} g'(x) &= -12x^2 + 4 \\ &= -4 \left(x - \frac{1}{\sqrt{3}} \right) \left(x + \frac{1}{\sqrt{3}} \right) \end{aligned}$$

より、増減表は

x		$-\frac{1}{\sqrt{3}}$		$\frac{1}{\sqrt{3}}$	
$g'(x)$	-	0	+	0	-
$g(x)$	\searrow	$-\frac{8\sqrt{3}}{9}$	\nearrow	$\frac{8\sqrt{3}}{9}$	\searrow

となるので、グラフは以下ようになる。



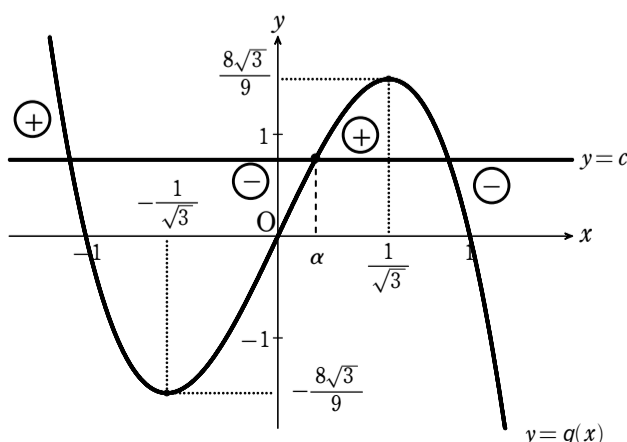
よって、①となるような c のとり得る値の範囲は、下の図より

$$-\frac{8\sqrt{3}}{9} < c < \frac{8\sqrt{3}}{9}$$

である。このとき、極小値をとる x の値を α とすると、 α のとり得る値の範囲は、

$$-\frac{\sqrt{3}}{3} < \alpha < \frac{\sqrt{3}}{3}$$

となる。



問2 $f(x)$ が $x = \frac{1}{2}$ で極小値をもつとき

$$f'\left(\frac{1}{2}\right) = 0 \text{ が必要}$$

$$\text{よって、} -4 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^3 + 4 \cdot \frac{1}{2} - c = 0$$

$$\therefore c = \frac{3}{2}$$

逆にこのとき

$$f'(x) = -4x^3 + 4x - \frac{3}{2}$$

$$= -\left(x - \frac{1}{2}\right)(4x^2 + 2x - 3)$$

$$f'(x) = 0 \text{ となる } x \text{ の値は、} x = \frac{1}{2}, \frac{-1 \pm \sqrt{13}}{4} \text{ より}$$

増減表は

x		$\frac{-1 - \sqrt{13}}{4}$		$\frac{1}{2}$		$\frac{-1 + \sqrt{13}}{4}$	
$f'(x)$	+	0	-	0	+	0	-
$f(x)$	\nearrow	極大	\searrow	極小	\nearrow	極大	\searrow

となるので、確かに $x = \frac{1}{2}$ の前後で負から正へと符号変化しているの
十分性は示された。

ここで、 $f(x)$ を $4x^2 + 3x - 2$ で割ると、以下ようになるので

$$\begin{array}{r} -\frac{1}{4}x^2 + \frac{1}{8}x + \frac{1}{4} \\ 4x^2 + 2x - 3 \overline{) -x^4 + 2x^2 - \frac{3}{2}x} \\ -x^4 - \frac{1}{2}x^3 + \frac{3}{4}x^2 \\ \hline \frac{1}{2}x^3 + \frac{5}{4}x^2 - \frac{3}{2}x \\ \frac{1}{2}x^3 + \frac{1}{4}x^2 - \frac{3}{8}x \\ \hline x^2 - \frac{9}{8}x \\ x^2 + \frac{1}{2}x - \frac{3}{4} \\ \hline -\frac{13}{8}x + \frac{3}{4} \end{array}$$

$$f(x) = (4x^2 + 3x - 2) \left(-\frac{1}{4}x^2 + \frac{1}{8}x + \frac{1}{4} \right) - \frac{13}{8}x + \frac{3}{4} \text{ となる。}$$

よって

$$\begin{aligned} f\left(\frac{-1 \pm \sqrt{13}}{4}\right) &= -\frac{13}{8} \left(\frac{-1 \pm \sqrt{13}}{4} \right) + \frac{3}{4} \\ &= \frac{1}{32} (37 \mp 13\sqrt{13}) \text{ (複号同順) より} \end{aligned}$$

$$x = -\frac{1}{4}(1 + \sqrt{13}) \text{ で、} f(x) \text{ は最大値 } \frac{1}{32}(37 + 13\sqrt{13}) \text{ をとる。}$$

3 次の文章を読み、下の問い(問1、2)の各枠に当てはまる符号または数字をマークせよ。

k を自然数とし、

$$T_k = \int_0^1 t^{k-1}(1-t)^3 dt$$

とする。

問1 $T_3 = \frac{\boxed{36}}{\boxed{37} \boxed{38}}$ である。

問2 任意の自然数 n について

$$\sum_{k=1}^n T_k = \frac{\boxed{39}}{\boxed{40}} - \frac{\boxed{41}}{(n+\boxed{42})(n+\boxed{43})(n+\boxed{44})}$$

である。ただし、 $\boxed{42} < \boxed{43} < \boxed{44}$ とする。

問3 $\sum_{k=1}^{\infty} T_k = \frac{\boxed{45}}{\boxed{46}}$ である。

解説

問1 $T_3 = \int_0^1 t^2(1-t)^3 dt$

$$= \int_0^1 (t^2 - 3t^3 + 3t^4 - t^5) dt$$

$$= \left[\frac{1}{3}t^3 - \frac{3}{4}t^4 + \frac{3}{5}t^5 - \frac{1}{6}t^6 \right]_0^1$$

$$= \frac{1}{3} - \frac{3}{4} + \frac{3}{5} - \frac{1}{6}$$

$$= \frac{1}{60}$$

問2 $T_k = \int_0^1 t^{k-1}(1-t)^3 dt$

$$= \int_0^1 t^{k-1}(1-3t+3t^2-t^3) dt$$

$$= \int_0^1 (t^{k-1} - 3t^k + 3t^{k+1} - t^{k+2}) dt$$

$$= \left[\frac{1}{k} - \frac{3}{k+1} + \frac{3}{k+2} - \frac{1}{k+3} \right]_0^1$$

$$= \frac{1}{k} - \frac{3}{k+1} + \frac{3}{k+2} - \frac{1}{k+3}$$

$$= \left(\frac{1}{k} - \frac{1}{k+1} \right) - 2 \left(\frac{1}{k+1} - \frac{1}{k+2} \right) + \left(\frac{1}{k+2} - \frac{1}{k+3} \right)$$

よって

$$\sum_{k=1}^n T_k = \sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{k} - \frac{1}{k+1} \right) - 2 \sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{k+1} - \frac{1}{k+2} \right) + \sum_{k=1}^n \left(\frac{1}{k+2} - \frac{1}{k+3} \right)$$

$$= \left\{ \left(\frac{1}{1} - \frac{1}{2} \right) + \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{3} \right) + \dots + \left(\frac{1}{n} - \frac{1}{n+1} \right) \right\}$$

$$- 2 \left\{ \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{3} \right) + \left(\frac{1}{3} - \frac{1}{4} \right) + \dots + \left(\frac{1}{n+1} - \frac{1}{n+2} \right) \right\}$$

$$+ \left\{ \left(\frac{1}{3} - \frac{1}{4} \right) + \left(\frac{1}{4} - \frac{1}{5} \right) + \dots + \left(\frac{1}{n+2} - \frac{1}{n+3} \right) \right\}$$

$$= \left(1 - \frac{1}{n+1} \right) - 2 \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{n+2} \right) + \left(\frac{1}{3} - \frac{1}{n+3} \right)$$

$$= \frac{1}{3} - \frac{1}{n+1} + \frac{2}{n+2} - \frac{1}{n+3}$$

$$= \frac{1}{3} - \frac{2}{(n+1)(n+2)(n+3)}$$

問3 $\sum_{k=1}^{\infty} T_k = \lim_{n \rightarrow \infty} \left\{ \frac{1}{3} - \frac{2}{(n+1)(n+2)(n+3)} \right\}$

$$= \frac{1}{3}$$

参考 $\int_{\alpha}^{\beta} (x-\alpha)^m(x-\beta)^n dx = \frac{m!n!}{(m+n+1)!} (\beta-\alpha)^{m+n+1} \cdot (-1)^n$ を用いてもよい

別解 参考を用いると

問1 $T_3 = \int_0^1 t^2(1-t)^3 dt$

$$= - \int_0^1 t^2(t-1)^3 dt$$

$$= - \frac{2!3!}{6!} (1-0)^{2+3+1} (-1)^3$$

$$= \frac{1}{60}$$

問2 $T_k = \int_0^1 t^{k-1}(1-t)^3 dt$

$$= - \int_0^1 t^{k-1}(t-1)^3 dt$$

$$= - \frac{(k-1)!3!}{(k-1+3+1)!} (1-0)^{k-1+3+1} (-1)^3$$

$$= \frac{6(k-1)!}{(k+3)!}$$

$$= \frac{6}{k(k+1)(k+2)(k+3)}$$

$$= 2 \left\{ \frac{1}{k(k+1)(k+2)} - \frac{1}{(k+1)(k+2)(k+3)} \right\}$$

よって

$$\sum_{k=1}^n T_k = 2 \sum_{k=1}^n \left\{ \frac{1}{k(k+1)(k+2)} - \frac{1}{(k+1)(k+2)(k+3)} \right\}$$

$$= 2 \left[\left(\frac{1}{1 \cdot 2 \cdot 3} - \frac{1}{2 \cdot 3 \cdot 4} \right) + \left(\frac{1}{2 \cdot 3 \cdot 4} - \frac{1}{3 \cdot 4 \cdot 5} \right) + \dots \right]$$

$$+ \left\{ \frac{1}{n(n+1)(n+2)} - \frac{1}{(n+1)(n+2)(n+3)} \right\}$$

$$= 2 \left\{ \frac{1}{1 \cdot 2 \cdot 3} - \frac{1}{(n+1)(n+2)(n+3)} \right\}$$

$$= \frac{1}{3} - \frac{2}{(n+1)(n+2)(n+3)}$$

- 4 次の文章を読み、下の問い(問1~3)の各枠に当てはまる符号または数字をマークせよ。
必要があれば、 $\log_e 10 = 2.3$ 、 $\log_{10} 2 = 0.30$ を用いること

太陽から地球に降り注ぐ光は、深海の底にほとんど届かない。海面に光が当たっているとしても、水深とともに辺りは暗くなる。一般に、光は空気や水などの物質で満たされた空間を通ると、距離とともに明るさが減少する。

いま、ある物質で満たされた空間を光が進む距離を x とし、そこでの光の明るさを $I(x)$ と表す。 $I(x)$ は、 $I(x) = I(0) \cdot f(x)$ と書けて、 $f(x)$ は x の指数関数であるものとする。

さらに、 $f(10) = \frac{1}{10}$ であるものとする。

問1 $f(x) = \frac{1}{2}$ となるのは

$$x = \boxed{47} \quad \boxed{48}$$

のときである。

問2 $f(x) = \frac{1}{e}$ となるのは

$$x = \boxed{49} \quad \boxed{50}$$

のときである。

問3 $|h| \approx 0$ のときに成り立つ1次の近似式 $e^{-h} \approx 1 - h$ を用いると

$$f(1) \approx 0. \quad \boxed{51} \quad \boxed{52}$$

である。

解説

$f(x) = a^x$ とおくと

$f(10) = \frac{1}{10}$ より

$$a^{10} = \frac{1}{10}$$

$$\therefore a = 10^{-\frac{1}{10}}$$

よって、 $f(x) = 10^{-\frac{x}{10}}$ となる。

問1 $f(x) = \frac{1}{2}$ より

$$10^{-\frac{x}{10}} = \frac{1}{2}$$

$$\therefore -\frac{x}{10} = \log_{10} \frac{1}{2}$$

$$\begin{aligned} \therefore x &= -10 \times (-\log_{10} 2) \\ &= 10 \times 0.30 \\ &= 3.0 \end{aligned}$$

問2 $f(x) = \frac{1}{e}$ より

$$10^{-\frac{x}{10}} = \frac{1}{e}$$

$$\therefore -\frac{x}{10} \log_e 10 = \log_e \frac{1}{e}$$

$$\therefore -\frac{x}{10} \times 2.3 = -1$$

$$\begin{aligned} \therefore x &= \frac{10}{2.3} \\ &= 4.347\cdots \end{aligned}$$

よって、 $x = 4.3$

問3 $f(1) = 10^{-\frac{1}{10}}$

ここで、 $\log_e 10 = 2.3$ より

$$10 = e^{2.3}$$

よって、 $f(1) = (e^{2.3})^{-\frac{1}{10}}$

$$= e^{-0.23} \quad \text{..... ①}$$

$h = 0.23$ として、 $e^{-h} \approx 1 - h$ を用いると

$$f(1) = 1 - 0.23 = 0.77$$

別解 ①の続き

$$f(1) = e^{-0.23}$$

$$= (e^{-0.115})^2$$

$h = 0.115$ として、 $e^{-h} \approx 1 - h$ を用いると

$$f(1) = (1 - 0.115)^2 = 0.783225$$

よって、 $f(1) = 0.78$

別解 ①の続き

$$f(1) = e^{-0.23}$$

$$= (e^{-0.0575})^4$$

$h = 0.0575$ として、 $e^{-h} \approx 1 - h$ を用いると

$$f(1) = (1 - 0.0575)^4 = 0.7890\cdots$$

よって、 $f(1) = 0.79$